

## 海外安全対策情報（令和7年10月～令和8年月3）

令和8年4月10日

### 1. 社会・治安情勢

現在までのところ、当館管轄区域内（カリフォルニア州中北部及びネバダ州）において、テロ発生の可能性がある具体的な情報は把握されていません。

しかし、カリフォルニア州のサンフランシスコ市やオークランド市、サンノゼ市など、サンフランシスコ湾を囲む「サンフランシスコ・ベイエリア」は、自由な気風が尊重される地域であり、1960年代以降、学生運動をはじめ、様々な主義主張を訴える活動が行われており、過激主義及び原理主義思想を背景とする活動が生じ得る社会的土壌を有しています。また、国際的な観光地域や経済集積地域を有することから、国際テロの対象となり得る場所とも考えられます。

一方、ネバダ州ラスベガスも、カジノで知られる世界有数のナイトスポットとして、年間4,000万人もの来訪者が訪れる一大観光都市であり、依然としてテロの潜在的脅威が存在しています。また、当局は治安維持に力を入れているものの、観光客を対象とした一般犯罪は後を絶たず、注意を要する地域となっています。2017年や2023年にラスベガスにおいて発生した銃乱射事件は、米国内においても大きな衝撃を与えた事件であり、銃犯罪が身近なものであることを改めて認識させる事件となりました。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 近年の犯罪傾向

##### ア 犯罪統計

サンフランシスコ市警察が発表する統計によると、2025年10月から2026年3月末までの犯罪発生件数は、前年の同時期に比べ減少傾向にありますが、依然日本に比べ非常に高い数値にありますので、犯罪に巻き込まれないよう特段の注意が必要です。

##### 犯罪統計

	2024年10月～2025年3月	2025年10月～2026年3月
殺人	15	23
強姦	130	103
強盗	954	694
傷害・暴行	1048	974
侵入盗	2236	1,587
自動車盗	2031	1,278
その他窃盗	9358	7,503

## イ 多発する特殊詐欺

最近、アメリカ各地で日本国大使館や総領事館、入国管理局、警察等を名乗る振り込め詐欺や、インターネット売買に関する詐欺、さらにはソーシャルセキュリティナンバー (SSN) を聞き出そうとする詐欺まがいの事案が多発しています。これらの特殊詐欺は手口が巧妙化しており、複数の人物がビデオ通話を用いて連携するケースも確認されています。

日本大使館、総領事館などの日本政府機関が、正式な手続によらず金銭や個人情報を電話で聴取することは絶対にありません。このような詐欺電話事案が発生していることを、できるだけ多くの方とも共有ください。

また、日本語だけでなく、英語で米国の公的機関を装う詐欺も報告されています。身に覚えのない電話やメールを受けた場合は、決して相手の指示する番号やリンクに返信・アクセスせず、必ずご自身で公式に確認された連絡先へご連絡ください。特に注意すべきは、携帯電話の着信表示が実在するクレジットカード会社や公的機関の番号に偽装されている場合や、詐欺師が事前に調べた氏名を名乗り「〇〇さんですか?」と話しかけてくるケースです。

さらに、アパートの大家を装い前金を要求する詐欺や、日本の証券会社を名乗って LINE グループを通じて株の購入を持ちかけたうえ、現金引き出し時に手数料等を理由に金銭をだまし取る詐欺も発生しています。株式投資に関わる取引を行う際は、相手の身元や取引の正当性を十分にご確認ください。

### 【詐欺被害にあった場合の連絡先】

#### ○米国

- ・ Federal Trade Commission (FTC): <https://reportfraud.ftc.gov/>
- ・ Internet Crime Complaint Center (IC3): <https://www.ic3.gov/>
- ・ 現地警察署 (最寄りの警察署に直接ご連絡ください)

#### ○日本

- ・ 消費者センター (188): <https://www.kokusen.go.jp/map/index.html>
- ・ 都道府県警 (#9110): <https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/>
- ・ 金融庁詐欺的な投資に関する相談ダイヤル  
<https://www.fsa.go.jp/news/r5/sonota/20240619/toshisagi.html>
- ・ 司法書士・弁護士

## ウ 多発する車上ねらいへの対策

サンフランシスコを含むベイエリアでは、年間を通して昼夜を問わず「車上ねらい」が多

発しています。市内の観光ポイントには、「PREVENT A THEFT」、「REMOVE VALUABLES LOCK YOUR CAR」等の標識が設置され、警察当局が警戒を強化していますが、短時間（1分未満）の駐車であっても十分に注意する必要があります。

車上ねらいは、座席等に置いてある金品が対象となることから、車内にはスーツケース、貴重品、鞆類等の荷物を放置しないことが何よりも大切です。犯人が離れて観察している場合がありますので、座席下やトランクなどに隠しても予防効果は十分とは言えません。駐車場所も、可能な限り人目の多い場所や照明の明るい場所を選ぶなど、常に犯罪対策を意識することが重要です。

被害に遭う車種は様々ですが、特にレンタカーの場合、使用者の多くは旅行者であり荷物をトランク等に放置する傾向が高く、レンタカーに狙いをつけて犯行におよぶグループも存在するとされ、旅券や現金等の貴重品は車内に残さないようにしてください。

なお、2025年10月から2026年3月末までに、邦人から当館に連絡があった車上ねらいの被害件数は7件ですが、本件は被害品に旅券が含まれていた事案のみの件数のため、実際には、同件数以上の邦人被害が存在するものと推測されます。特に、サウスベイエリアで車上ねらいが増加（7件中5件はサンノゼ）していますので、十分に注意してください。

※ 各地域の犯罪発生状況は、次のサイト等で検索することができます。居住地や渡航予定地域の犯罪発生状況の確認にお役立てください。

<https://spotcrime.com/ca/san+francisco>

<https://spotcrime.com/nv/las+vegas>

<https://www.crimereports.com/>

（上記サイトは、皆様に治安状況の参考にしていただくために掲載しているものであり、警察当局からの公式な情報ではない点にご留意下さい。）

### 3. テロ・爆弾事件発生状況

当該情報には接していません。

### 4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人を被害者とする情報には接していません。

### 5. 日本企業の安全に関わる諸問題

当該情報には接していません。